

インターハイ県単独開催から複数県合同開催へ

- 開催県の負担軽減
- 経費負担の低減
- 質の高い競技環境の確保

南関東総体 2014

## 基本コンセプト

〈配慮事項1〉

高い競技水準を発揮させる環境を提供

競技に打ち込んできた選手の  
パフォーマンスが最大限発揮  
できる競技環境を提供する。

〈配慮事項2〉

2020 オリンピック・  
パラリンピック開催決定

2020年に向け、スポーツ大会  
の運営能力の向上、支えるボラ  
ンティアの養成、都民のスポー  
ツ振興気運の醸成に資する。

〈配慮事項3〉

被災地の復興を応援

インターハイに関わる様々な  
事業を通じて、被災地の復興  
を応援する。

〈配慮事項4〉

五輪開催決定後の  
インターハイモデル

五輪候補選手の登竜門や東京育  
ちのアスリート育成システムと  
しての位置付けを明確化する。

きら  
高校生の  
煌めく青春の実現

競技に打ち込む選手

応援する生徒

競技大会を支える補助員

活動成果を発表する出演者

部活動に打ち込む高校生

一人ひとりの高校生活（青春）の充実